

Press Release



報道関係各位

2017年1月27日

株式会社リゾーム

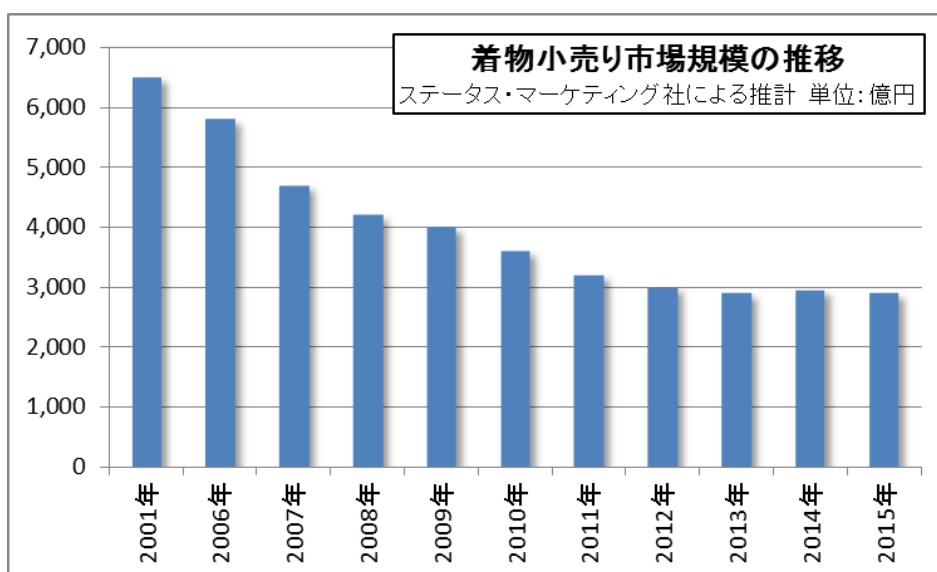
<呉服・和装ショップの出退店動向の調査> 「着物離れ」脱却を目指す呉服業界の“カジュアル化”と “和テイスト”の意識の高まり

株式会社リゾーム(本社：岡山県岡山市、代表取締役：中山 博光、以下 当社)は、当社製品の全国SC・ショップ・ブランド出退店データベース「SC GATE」を活用し2016年1月～2016年12月の期間を対象に、国内の商業施設における呉服・和装ショップの出退店動向の調査を実施しました。なお、2017年1月より、様々な業種に関するレポートやランキングを定期的に全国商業施設トレンドレポートとして配信・ご提供し、本内容が第一弾となります。

■集計概要

1. 集計期間：2016年1月～2016年12月
2. 対象業種：呉服・和装
3. 集計方法：SC・ショップ出退店データベース「SC GATE」での業種別集計結果をもとにした当社分析による。

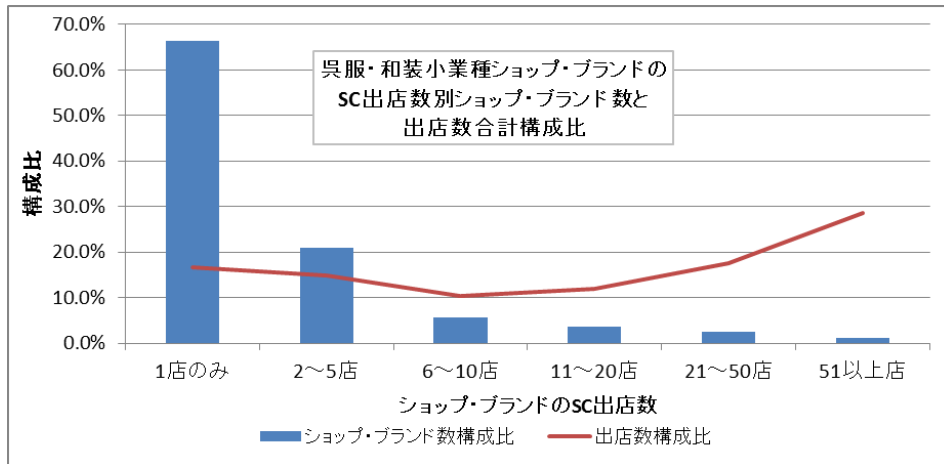
今回の調査テーマは「呉服・和装」です。かつては2兆円規模と言われた呉服業者の市場規模は、2011年の着物小売市場規模では約3,200億円、2016年となると2,900億円と推計されるなど、厳しい状況が続いています。



今回、こうした厳しい状況にある「呉服・和装」をテーマに取り上げた理由としては、インバウンド市場が伸びているからでもなければ、成人式や卒業式シーズンだからでもなく、別の重要な理

由があります。不調と言われる呉服・和装であるにもかかわらず、現在、SC GATE のファッション業種の出店ランキング上位 20 位の中に「呉服・和装」小業種のショップ・ブランドが登場しています。さらに上位 100 位まで拡げると 6 つのショップ・ブランドが登場していることに注目したからです。

SC GATE の「さがす(ショップ・ブランド)」で小業種「呉服・和装」で検索できる出店数が 1 以上のショップ・ブランド数は 250 を超え、運営企業数は 170 社強ですが、そのうち、1 店舗のみ出店という運営企業が 3 分の 2 を占めています(図 2)。

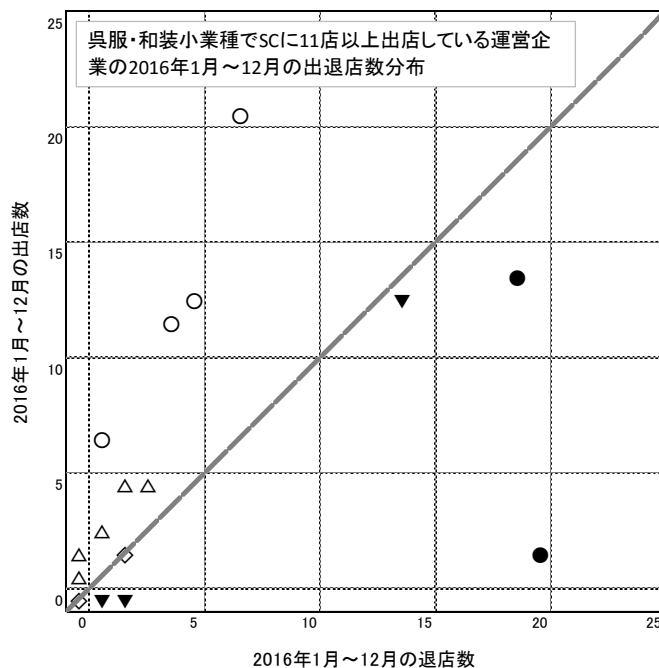


(図 2)

また、出店数が多い運営企業に目を移すと、経営学的にチェーンストアと定義される 11 店以上を SC に出店している運営企業数は 18 社、ショップ・ブランド数は 39 で、ショップ・ブランド数の構成比で 7% 強のショップ・ブランドで合計出店数構成比は 60% 弱を占めるなど、どちらかという小規模なショップ・ブランドが多い業種の可能性が伺えます。

■ 「呉服・和装」小業種のショップ・ブランドでは勢いに明暗が

次に運営企業別の 2016 年 1 月～12 月の出店数と退店数を見てみましょう。



(図 3)

図 3 の散布図は、上で触れた SC に 11 店舗以上出店している運営企業について 2016 年 1 月～12 月の

出店数をたて軸、退店数をよこ軸にプロットしたものです。灰色の対角線より上にある運営企業は出店数が退店数より多い運営企業、逆に対角線より下は退店数が出店数より多かった運営企業です。半数以上の運営企業は対角線近くに分布していますが、数社の運営企業が大きく店舗数を増やし、また、数社の運営企業が大きく店舗数を減らしていることがわかります。

SCに51店以上出店している運営企業は4社ですが、この4社に絞ってみても出店数が増加している企業が2社、出店数が減少している企業が2社となっており、「呉服・和装」小業種のショップ・ブランドには勢いのあるショップ・ブランドとそうでないショップ・ブランドが混在していることが伺えます。

■進む呉服業界のカジュアル化

SC GATE データから見たファッション業種で株式会社二葉屋の「HANAGOROMO(ハナゴロモ)」がファッション全体の中で第14位にランクイン、株式会社ウェディングボックスの「ふりそでMODEwedding・BOX」が31位にランクイン。後者は九州発企業ですが、2013年より都心のファッションビルや高感度駅ビルに出店、成人式の振袖レンタル・販売と前撮り写真までをサービスとしています。

また、きもの・和雑貨・アクセサリを扱う株式会社BANKAN わものやのような新興企業が出店を伸ばしており、老舗がひしめく業界にあって、呉服の世界にもカジュアル化が進んでいます。

■「呉服・和装」業界の動向

冒頭に触れたようにこの業界は大変厳しい状況にあり、その背景には生活の洋風化による「着物離れ」があります。しかし、そうした背景に加え、高額化により市場規模を維持しようとした業界の動きとその後のバブル経済の崩壊が大きく影響し、結果として「着用シーンの減少」「消費者知識の低下」「高価格化」が悪循環を招いているとも指摘されています（「着物関連市場における新たなセグメントとその特性の分析」2013年、立命館大学 吉田満梨、京都市産業観光局商工部伝統産業課）。

確かに着用シーンは減少してきたのかもしれませんが、「夏のファッションとしての浴衣」「成人式」「卒業式」「フォーマル着としての着物」など着用シーンは定着しています。それに加えユニバーサル・スタジオ・ジャパン(R)のハロウィーンイベントでの和仮装トレンド、均一価格ショップのザ・ダイソーによる和雑貨店“わ菜和な KURASHI”出店、「和サンド」など食品業界での和人気などいろいろな分野で「和」テイストに対する意識も高まりつつあります。

「消費者知識の低下」については、2012年度から実施されている中学校の学習指導要領に「和服の基本的な着装」が必修項目として再登場し、NPOが着付け体験授業を実施するなどいろいろな取り組みが始まっています。

こうした流れから、SC やショップでの動きが重要になってきているといえます。若い女性の新しい着方、着る機会のイベント提案、リーズナブルな写真やメイクサービス、関連商品の販売、知識のないお客様への丁寧な接客はもちろんのこと、自分で着用できないお客様向けの着付けのサービス、高額品の押し付けではない安心できる販売に加え、レンタルやリサイクルといった選択肢の追加、和雑貨など関連商品の販売による入りやすさへの工夫など実施できることはたくさんありそうです。今一度、SC やショップの思いをどのように店ぞろえや店づくりで表現するかを見直す必要があるかもしれません。

【本稿は当社データベース「SC GATE」2016年12月度時点データを用いて作成しています】

■「リゾーム 全国商業施設トレンドレポート」シリーズとは

当社製品「SC GATE」は、商業施設におけるショップ・ブランド出退店状況を、月別時系列に検索できる業界最大級のデータベースです。全国 4,400 商業施設と 17 万ショップ・ブランドを 318 業種に分類し、その出退店情報は毎月更新しており、すでに過去 4 年分ちかくが蓄積されました。SC GATE から読み取れる業種別の出退店トレンドは、ここでしか得られない貴重な情報となっております。当社は 2017 年 1 月より、様々な業種に関するレポートやランキングを定期的に配信・ご提供いたします。※2017 年 1 月 26 日現在では、4,427 商業施設、17 万 1242 ショップ・ブランドを掲載しております。

■株式会社リゾームについて

お客様の「情報価値」を最大限に引き出し、経営の成果に結びつける事を当社の存在目的として、「今を活かし、未来を創造する」を経営理念と定め、百貨店・SC・専門店などの流通・小売業界を中心に事業を展開しています。当社の分析システムは約 600SC に導入、出退店データベース「SC GATE」を導入いただいている企業様の運営施設は約 2,000SC に上り、この分野ではシェア No.1(※)となっております。

※一般社団法人日本ショッピングセンター協会の発表によると、全国の SC 数は 3,244 です。(2016 年 12 月末現在)

■会社概要

会社名：株式会社リゾーム

所在地：

《本社》 〒701-0165 岡山県岡山市北区大内田 675 テレポート岡山 5F

《東京オフィス》 〒104-0042 東京都中央区入船 1 丁目 5-11 弘報ビル 4F

《大阪オフィス》 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 7F

代表者： 代表取締役 中山博光

資本金： 5,265 万円

事業内容：

○流通小売業向けソフトウェア・クラウドサービス企画・開発・販売

戦略会議 NEXT シリーズ・・・顧客分析システム・デベロッパーマネジメントシステム

コミュニケーションウェア・・・BOND GATE

クラウド型 SC 向け営業管理・・・交渉管理 ware

○サービス運営事業

流通小売業向け Web サービス運営・・・SC GATE・出店ダイレクト

一般消費者向け Web サービス運営・・・MallNavi

○各種コンサルティング

マーケティングコンサルティング・リーシング情報支援

顧客分析レポート・ID-POS データ分析レポート・ショップ実績分析レポート

Web サイト：<http://www.rhizome-e.com/>